

平成 22 年度 研究協力委員会 活動報告

平成 22 年度は、若手研究者交流会（企業研究所訪問）や共同研究の推進などを柱とした活動を推進した。

<活動目標>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合
- (2) 若手研究者の交流
- (3) 共同研究の推進

<活動成果>

- ・平成 22 年度広島大学日本ハム研究協力委員会を開催
- ・第 3 回若手研究者交流会（企業研究所訪問）を開催
- ・共同研究「食肉の有用性に関する研究」を推進 など

<活動概要>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合

本年度も広島大学および日本ハムの責任者と担当者を交えたグループ討議を通じて情報を共有化し、大学シーズと企業ニーズの融合化を推進した。

平成 22 年度「広島大学日本ハム研究協力委員会」

日時：平成 22 年 12 月 9 日（木）14：00～16：30

会場：日本ハム（株）中央研究所

茨城県つくば市緑ヶ原 3 丁目 3 番地 （テクノパーク豊里内）

議事次第：

- ①平成 22 年度活動内容の報告
- ②第 3 回若手研究者交流会について
- ③平成 22 年度共同研究内容の進捗報告
- ④来年度以降の活動内容に関する協議など

- (2) 若手研究者の交流

第 3 回「若手研究者交流会」

日時：平成 22 年 12 月 9 日（木）14：00～24：00

会場：日本ハム（株）中央研究所 他

交流内容：研究科における博士論文・修士論文研究内容および日本ハム(株)の研究業務を相互に紹介した後、研究科博士課程および修士課程在籍生と同若手研究員との間で活発な意見交換を行った。

(3) 共同研究の推進

【研究題目】

「食肉の有用性に関する研究」

【研究担当者】

広島大学大学院生物圏科学研究科：田辺創一

日本ハム(株)中央研究所：河口友美、大石泰之

(4) その他

- ※ 平成 21 年度活動報告および第 3 回若手研究者交流会の状況を研究科ホームページと日本ハム(株)中央研究所ホームページに掲載した。

以上